

2019年度 「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

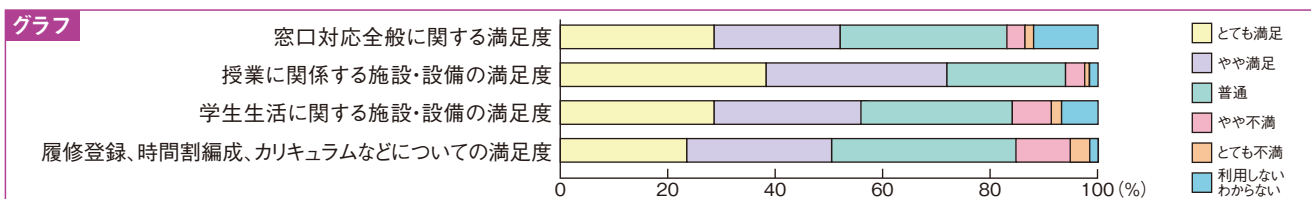
実施概要・調査方法 「学生による教育環境改善のためのアンケート」は学部生、大学院生、聴講生などのみなさんから意見を広く集め、窓口や施設に対する満足度を調査し、課題を発見することを目的としております。

アンケートの内容については、選択式と自由記述式をとり、選択式では窓口サービスや施設の設問に対しての満足度調査をしました。また、自由記述式では、設問にある窓口、施設を具体的に選択させ、それに対する満足度とその理由の記述を求めました。

2019年度からは、このアンケートは紙媒体からPorTaIIでの実施に移行しました。実施は、原則、第13回目あるいは第14回目の授業日(最終授業日)(12月17、18、23日、1月8～11、14、16、17、20、25日)の指定クラスにて教員から学生への指示の下で行いました。指定クラスを履修していない学生や欠席者などに対しては、1月8日～2月10日の間に授業時間外で各自アンケートに回答するようPorTaII個人向け掲示板、電子メール、学内掲示により呼びかけました。

集計方法 選択式については、それぞれの設問に対し集計をおこない、また自由記述については、回答者が入力した原文をそのまま集計しました。なお、集計の際には学生個人を特定するデータは一切含まれておりません。

結果報告 学部生、大学院生、聴講生など合わせて8,401名の対象者の内、2,020名のみなさんから回答いただきました(回収率:約24.0%)。そのうち学部生、大学院生については、それぞれ所属別・学年別に満足度を集計しました。各設問に対する回答者全体の満足度の結果は **グラフ** の通りです。自由記述については、回答者個人を特定できないように資料を作成し関連事務局へ渡しました。個々に対する質問には回答しませんが、「自由記述に対する事務局からのフィードバックコメント」として大学からの回答(概要)を以下に掲載します。詳細は、ホームページをご覧ください。



今後について 今後は「事務局自己点検・評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく課題点を抽出し、その検討及び改善に取り組みます。なお、活動状況・改善報告等については、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

概 要

1. 2019年度の教育環境改善報告

2018年度のアンケート結果を受けて行った2019年度の改善について報告します。

2019年度は、「100分授業の開始と国際化・グローバル化教育の推進」、「創立50周年記念館(西棟)の竣工と今後のランドスケープ計画等」、「現行諸制度と組織の検証とさらなる改革強化策の構築」という大学運営基本方針、また予算編成方針のもとに改革を進めてきました。

ハード面では、「CLEAS(クレアス)」を中央棟1階に開室し、学生のみなさんの自律学習を促す環境を整備しました。また、より快適な食環境の改善のため、学生食堂をリニューアルオープンしました。ソフト面では、天野貞祐記念館2階に国際交流センター、日本語準備室を集約し、「Global Frontier プロジェクト」を始動させました。また、SNSや動画配信等といった多様なニーズに応えられるように大学ホームページをリニューアルしました。

事務局では、本学全体の重要課題に取り組みつつ、従来から、窓口対応、授業関連施設、学生生活施設の改善をはじめとする、諸施策を推進してきました。社会の変化と学生のみなさんのニーズの変化に対応するため、本アンケートで挙げられた要望をもとに教育環境の改善を着実にものにしていきたいと思います。

■ 窓口対応

- 学生のみなさんからの指摘やご意見について各部課室で話し合いをおこない、速やかな改善に取り組みました。
- 「挨拶」、「丁寧」、「正確」のスローガンと教育的配慮に基づいて、学生のみなさんとの良好な関係づくりや、積極的な情報発信などに取り組みました。
- アンケートの要望から、窓口対応に関するガイドライン(行動基準)のひとつにワンストップサービスを心がけるという文章を追加しました。

■ 教育研究施設

- 人工芝グラウンドはAコート、特にサッカーフィールドの損傷が目立ったため、スポーツ施設管理業者による検分を実施しました。
- 35周年記念館の外壁改修をおこない、3月末までには西面と北面の工事が完了しました。

■ 学生生活施設

- 学生食堂のメニューについては、特別メニューなど月ごとにイベントを開催し、好評を博しています。また父母の会とゼミ活動のコラボレーションによる野菜摂取を促すプロジェクトなども実施し、学生食堂の充実を図るよう努めました。
- トレーニングルームでの「レディースタイム」の検討について、試験運用の準備をする過程で、女子学生の利用者、トレーニングルームの受付を委託しているスタッフにヒアリングしたところ、「レディースタイム」の設定までは必要ないのではとの声が多数あり、試験運用に至りませんでした。

2. 2019年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

■ 窓口対応

- 「親切だった」、「対応がよかった」などの意見をいただいておりますが、「無愛想で不親切な人もいる」などのコメントもありました。この点については今後、「事務局自己点検・評価委員会」を通じて、窓口スローガンである「挨拶」、「丁寧」、「正確」の意識のさらなる徹底を図ります。

■ 教育研究施設

- 無線LANについて、教室、図書館、学生センターを中心に無線LANの安定稼働に努めていますが、全体の利用状況や建物事情により電波の状況が悪いことがあることをご理解ください。常態的につながりにくい場所がありましたら、東棟4階ヘルプデスクまでお伝えください。
- コンセントの数について、4棟や6棟の建設時には現在のような利用形態を想定しておらず数は少ないですが、新しい建物ではコンセントの数を増やしました。また、コンセントについては、電気容量の関係もあり容易に増やせない事情があることもご理解ください。
- 人工芝グラウンドの競技用ラインについて、2020年度末に人工芝グラウンドの芝を張り替える予定ですので、ラクロス以外も含めて最新ルールに準拠できるよう、ラインの位置を更新します。それまでは個別の対応が出来ない旨、ご理解ください。
- 西棟3階のラーニング・スクエア1・2は、2020年度中にスタッフを配置して、自律学習で使用するための機器類を整備することを計画しており、中央棟1階のCLEAS(クレアス)と連携した、新たな自律学習スペースとしてリニューアルする予定です。時期は未定ですが、今後、大学ホームページ等でお知らせします。
- ICZについて、3フロアでおこなっている英語ニュース放送については、音声だけではわかりにくいというご意見もありましたので、スクリーンに映像も同時に流すことで、外国語の空間を提供する工夫をします。この空間は単なるラーニングコモンズではなく、外国語のコミュニケーション空間でもあることをご理解ください。
- コンピュータ教室について、プリンターの設置や有償ソフトウェア追加のご要望をいただきましたが、授業内容や教室の状況、費用等の状況から、すべての教室を同一とすることはしておりません。プリンターは2019年3月末にオープンした中央棟1階の自律学習スペース「CLEAS(クレアス)」にも設置しました。モノクロに加えカラーも用意しており、学習目的で利用することができますのでご利用ください。

■ 学生生活施設

- 学生食堂をはじめとする学内の飲食店舗について、メニュー改善やコンビニエンスストア増設などの要望をふまえて、引き続き食環境改善を図ります。
- 各スタジオの防音効果に関して、壁面の補修などに随時取り組んでいきます。ドアの開閉は音を出していない時のみ行うよう、引き続き利用の際はご協力ください。
- 2019年度の喫煙者数の日ごとと平均は前年に比べて大幅に減少しています。引き続き分煙パトロールに加えて、ポスター掲示などを通して、受動喫煙防止や健康増進のための啓発活動を実施します。吸わない人の健康だけでなく、吸いたい人の吸う権利も守りたいと思います。そのためにも、指定場所以外では絶対に喫煙しないようにしてください。

■ その他

- 100分授業について、様々なご意見をいただきました。授業時間変更については、大学設置基準に定められた単位取得に係る授業時間数の確保のため、2019年度から実施しました。2020年度も引き続き、100分授業導入による、新たな学びの形が展開していくよう教育の質保証に努めます。
- ホームページやPorTaが変わりすぎて使いづらいとのご意見をいただきました。使い慣れるまでご不便をおかけしますが、仕様等につきましては今後も改善に努めます。

この記事の詳細はHP「獨協大学の自己点検・評価活動」のページ内にある「学生による教育環境改善のためのアンケート」をご覧ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/about/selfmonitor/selfmonitor.html>